

第 17 回 核データグループ会合議事録

日 時 昭和 43 年 4 月 22 日 P.M. 1.00 ~ 5.00

場 所 原研東海研, 第 5 会議室

出席者 菊池(康), 若林, 中島(豊), 河原崎, 八谷, 神田, 岡本, 西村,
五十嵐, 中村(議長), 大久保(書記)

配布資料 第 15, 16 回会合議事録

議 事

1) 15, 16 回議事録確認

2) 運営委員会報告(五十嵐)

43 年度予算

計算費	736 万	各グループ別配分	
運営費	100 万	熱化グループ	200 万
計	836 万	炉定数 "	260
運営費内訳		核データグループ	200
旅 費	75 万	σ_T , threshold 評価	50
会 議	15 万	計	710
印 刷	10 万		
計	100 万		

核データグループの旅費は~16万になり, ~4回分の会合に相当する。会合を東京, 東海のサブ・グループに分けるなど検討した。

3) 計算グループ報告

3月の勉強会以来, あまり進展していない。~~RACY, STEVE, STAFF~~をCDC→IBMに改造が行なわれる予定。これに関してΣ委員会の仕事を発表する場合, 個人とグループの関係, コードを外部依頼した場合の acknowledgment の形式など統一すべき事に意見が一致した。発表の規定, 手続等の作成を運営委員会にはかる事になった。

4) 43年度実行計画

- ① 核データ収集作業は従来どおり
- ② ~~STEVE, RACY, STAFF~~ を原研IBMでやる様に改造
- ③ 核データグループとして, 一つにまとまった作業をしてはどうかと意見

があり、いくつかの案が出たが、核種をきめて、model, code, evaluation などのフルコースを手わけして行なう事に話が落ち着いた。核種は何にするか、計算関係、実験関係との contribution の体制、などの問題が予想され次回までの宿題となった。

④ その他の意見

- ・ 会合の議題が計算グループの Spec の解説が主になってもよい。(神田)
- ・ Carbon evaluation, threshold など早く予算を使いたい(西村)
- ・ σ capture, ($E_n < 40 \text{ keV}$)
U $\sigma(n, n')$ } evaluation はやる価値がある(五十嵐)
- ・ ENDF/B 勉強会をしたらどうか
- ・ 計算コードについて、必要度の低いものには、なるべく手を抜けない方がよい。(五十嵐)

5 その他のアナウンス

- ・ STEVE I, II, III 外部から利用申込があった(八谷)
- ・ 勉強会として、Conference 紹介、自分のやっている事の発表会など、意見を出してほしい(五十嵐)

次回 6月3日(月) 場所 未定(東海研に後日決定)

議長, 西村, 書記 中島(豊)